

Zoom Up



自分だけではできなかった経験を
させてくれたチームのみんなに
「ありがとう」と伝えたい



続橋 菜摘さん・琴菜さん

●つづきはし・なつみ ことな 大更小6年生。愛称は「なっちゃん」と「こっちゃん」。双子の姉の菜摘さんは児童会副会長、妹の琴菜さんは体育委員長を務める。自分の性格をそれぞれ「おっちょこちょい」、「負けず嫌い」と自己分析。好きな言葉は「何事も積極的」、「絶対に勝つ」。好きなサッカー選手としてセルティックFCの中村俊輔、ACミランの力を挙げる。血液型O型のおひつじ座。両親と兄の5人家族。大更在住。



「メ」

双子の菜摘さんと琴菜さんは、目を輝かせながらそう語る。サッカー日本代表のトレーニングセンター、福島県のJヴィレッジで開催される12歳以下の女子サッカー全国大会・なでしこカップを指して戦う東北選抜チームの選手に招集されたのは、昨年の秋のことだ。2人は大更サッカー少年団に所属。菜摘さんはディフェンダーとして守備を、琴菜さんは得点を取るフォワードをそれぞれ担当する。レギュラーとして数々の大会で活躍し、東北女子選抜チームに選ばれた。選抜チームでも攻撃の起点として意欲を高める琴菜さんだったが、監督はゴールキーパーへのポジション変更を告げた。メンバー13人の中

ンバーに選ばれたと聞いたときは、すごくうれしかった。

でも小柄な琴菜さんは「びつくりした」という。経験のないポジションでの起用だが、琴菜さんの本職はフォワードだ。相手の狙いや苦手なコースは、手に取るように分かる。「絶対に点を入れさせない」という思いでゴール前に立った。ゴールを守るディフェンス陣の一角には、相手のボールをカットしてシュートを打たせない守備のスペシャリスト・菜摘さんが立っている。心と心が通じ合う双子の姉妹の連携プレーで、チームの守りは鉄壁だ。

初めてプレーする女子だけのチームだったが、勝利に向けて一つにまとまることのできた。昨年11月の東北大会では、並み居る強豪を抑えて1失点で優勝。2月10日から12日まで行われたなでしこカップでは、予選リーグを無失点に抑えたものの総得点で1点及ばず、惜しくも決勝リーグには進めなかった。

選抜チームでの経験は、2人を大きく成長させた。全国レベルのプレーを肌で感じ、多くを学んだという。基礎体力の向上など、取り組む課題は見えている。新たなチームでのレギュラーを目指し、今日も2人は練習を重ねている。

メンバー13人の中

今日も2人は練習を重ねている。